

JENESYS2022 日フィリピン「高校生交流」の記録 (日本語学習者招へい)

1. プログラム概要

【目的・概要】フィリピンで日本語を学習する学生に対して、生活・文化、地方の魅力などを体験してもらうことで、日本語学習に対する意欲向上と日本文化へのより深い理解を促し、日比両国の架け橋となる人材を育むことを主目的として実施しました。

【参加者】日本語を選択し、学習している高校生及び学校関係者 計 63 名

【訪問地】事前学習：東京都、訪日プログラム：東京都、青森県

2. 日程

■ 事前学習（オンライン）

2022 年

8 月 23 日（火曜日） 【日本理解講義・質疑応答】「Japan Today」
講師：SIMA 国際経営研究所所長 木村 秀夫氏

2023 年

1 月 3 日（火曜日） 【オリエンテーション】
訪日前迄の個別学習 【動画視聴】ホームビジット体験、南三陸町からのメッセージ、日本文化理解（京都）、広島ピースツアー、日本語学習、ようこそ日本へ～日本の感染症対策～、日本理解講義「Japan Today」

■ 訪日プログラム

1 月 10 日（火曜日） 成田国際空港より入国

1 月 11 日（水曜日） 【交流・視察】フィリピンからの JDS^(注) 留学生と交流、浅草視察
(注) JDS：人材育成奨学計画（The Project for Human Resource Development Scholarship：通称 JDS）：政府の「留学生受入 10 万人計画」の下、実施されている無償資金協力による留学生受入事業。
【訪日時オリエンテーション】

1 月 12 日（木曜日） 【体験】日本語レッスン 講師：JICE 日本語教育事業課 浅見 恵子氏、三浦 優子氏

【視察】豪徳寺

【視察】東京都庭園美術館でのスクールプログラム

1 月 13 日（金曜日） 東京都から青森県へ移動

【表敬訪問・地域理解講義】南部町役場

「南部町地域概要講義」講師：南部町交流推進課 主事 北山 由梨氏

【学校交流】青森県立名久井農業高等学校

1 月 14 日（土曜日） 【視察】国指定重要文化財（建造物） 南部利康霊屋

- 【視察・日本文化体験】 法光寺（座禅）
- 1月15日（日曜日） 【ホームビジット】 交流、歓送会
【ワークショップ】 報告会準備
- 1月16日（月曜日） 青森県から東京都へ移動
【報告会】 プログラムでの学びを報告
- 1月17日（火曜日） 成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

事前学習

	
2022年8月23日【オリエンテーション】	2022年8月23日【講義・質疑応答】講義の様子
	
2022年8月23日【講義・質疑応答】質疑応答の様子	2022年8月23日 記念撮影

訪日プログラム

	
2023年1月11日【交流・視察】JDS 留学生と交流後、浅草散策	2023年1月12日【視察】東京都庭園美術館で美術館の概要説明を受ける様子
	

2023 年 1 月 13 日【学校交流】青森県立名久井農業高等学校生徒と和太鼓体験	2023 年 1 月 15 日【ホームビジット】受け入れ家庭でひょうたんランプ作りをする様子
	
2023 年 1 月 15 日【ホームビジット歓送会】歓送会で着付けをした姿で舞踊を披露する様子	2023 年 1 月 16 日【報告会】修了証を片手に来賓と記念撮影

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生

日本語を学び、愛すべきホストファミリーの方々と出会い、心のこもった手作りのお食事をいただきました。日本の高校生との交流で学校の様子を教えてもらえたことも興味深かったです。お寺や神社の見学も本当に素晴らしい経験になりました。日本の歴史や文化を学ぶことが出来ました。

◆ 高校生

このプログラムは自分自身を見つめ直し、自国での良い市民となる手助けになりました。プログラムを通し出会った多くの方々とつながる事が出来たように感じました。私のような高校生が知識を増やし、将来の糧となるような方々と出会えるプログラムでした。もっとも印象に残ったプログラムは青森でのホストファミリーの方々と過ごした時間です。自分の家のように感じました。温かく迎えて下さり、私の母国フィリピンと同じように、笑顔や笑いのある家族でした。日本は近代化した国という固定観念は間違いであり、近代化も伝統も共存しているのだと分かりました。それ故、日本は素晴らしい人々のいる素敵な国です。

◆ 高校生

青森への訪問とそこで出会った地方の方々との交流に特に感銘を受けました。アニメやポップカルチャーという固定観念からイメージする日本とは異なる、地方の文化を堪能することが出来ました。JICE 本部で行われた日本語レッスンも楽しかったです。おかげで日本の方と話すとき自分の事を伝える準備が出来ました。また、フィリピンからの JDS 留学生との交流も役に立ちました。日本で学ぶ機会を見つけたい、地域の発展に貢献したい、と鼓舞されました。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 庭園美術館担当者

普段から都内をはじめ様々な学生のスクールプログラムを担当していますが、日本の学生からはなかなか出てこないような意見も多く、フィリピンの参加者の皆さんが鑑賞後気づいた学び

を堂々と発表する様子に圧倒されました。今後、日本の学生向けのプログラムをする際にも大変勉強になりました。

6. 参加者の対外発信

	2022 年 8 月 23 日 (Facebook) ブルネイとフィリピンのための JENESYS オンライン・プログラムの参加者の一人になれてとても嬉しいです！ 木村先生から日本の科学と工業生産における日本の技術的進歩について楽しく学べました。 いつかきっと私も日本の素晴らしさを体験できると思っています。
	
2023 年 1 月 14 日 (Instagram) お寺に行き座禅をしました。リラックスして穏やかな気持ちになった体験でした。多くの日本の伝統文化を学べて本当に素晴らしかったです。	2023 年 1 月 16 日 (Instagram) 青森は素晴らしかったです。町の特徴を学んで思い出に残る経験をしました。着物を着たり、座禅を体験したり、雪を触ったり、すべて初めての体験でした。ここで学んだことや経験は私の一生の宝物です。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表 (抜粋)

フィリピン高校生交流 (日本語学習者) ①

	WHAT WE KNEW ABOUT JAPANESE CUISINE BEFORE GOING TO JAPAN - Composed of bento boxes, ramen, noodles, sushi, and cold cuts. - The serving size of Japan's food was just a small portion. - Similar to the food we have in the Philippines.	OUR ACTION PLANS TO BE IMPLEMENTED IN THE PHILIPPINES To host a program orienting locals about Japan's food.
地元の人々を対象に日本の食べ物を紹介するプログラムを主催します。 食べ物を紹介するだけでなく、日本で 1 週間過ごして学んだ食事のマナーや挨拶なども紹介するプログラムにしたいです。		

フィリピン高校生交流（日本語学習者）②



■ 長期的目標

5 年後を目途に家族や友人と日本を再度訪れたいです。大切な人にも自分が経験したような日本の美しさを実際に経験してもらいたいからです。

■ SNS

SNS のアカウントを最大限に利用して、私たちが日本で実際に体験したことや写真を通して広めていきたいです。

■ オンライン交流

私たちの Facebook ページを利用できるようにします。帰国 3 か月後に日本にいたときの興味深い話や視察内容を掲載します。さらに、日本に関するプログラムをオンラインで開催して日本の魅力を伝えたいです。

■ 近況報告

コミュニケーションをオープンにします。定期的にメンバーの生活や日本での経験が私たちに与えた影響について内容をアップデートします。

■ 同窓会

2 年に一度、フィリピンで JENESYS 2022 フィリピン高校生交流（日本語学習者）プログラムの同窓会を開きます。プログラムの体験を共有しているだけではなく、メンバーは強い絆で結ばれていることがこれにより証明されると思います。

■ 今後の協力機関

1. ナショナル ユース コミッション
2. 教育省
3. サングニアン・カバタアン（フィリピン青少年組織）

フィリピン高校生交流（日本語学習者）③



■ 実施目的：フィリピンの若者にグローバル人材としての自覚を促し、グローバルに目を向ける機会があることを教えます。

■ 実施計画：日本の高校のカリキュラムと教育制度の基本的知識をコミュニティ内で提示し、人々の自覚を促し行動を起こさせます。また、青少年交流により多くの学生が参加し、長年に

わたる絆を築くべくイニシアティブをとるよう促します。

■ SNS で発信していきたいこと

日本の自然、文化、伝統、人々について

■ 対面交流での発信

- 日本の他者に対する尊敬と習慣
- 美術、工芸品の紹介
- テーブルマナー、作法について
- 日本語学習を広めていく

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）